

お客さまへ

●ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みください。
お読みになった後、大切に保存し、必要なときに役立ててください。

安全のために必ずお守りください

⚠ 警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに 結びつく可能性があるもの	
禁止 器具の改造や指定部品以外の交換はしない。 (火災・感電・落下の原因)	禁止 器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。 (火災・感電の原因)
禁止 器具やランプを布や紙などで覆わない。 (可燃物をかぶせて使うと火災の原因)	

⚠ 注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・ 家財などの損害に結びつくもの	
禁止 お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士などの 資格が必要です。(火災・感電の原因)	禁止 ランプは落としたり、(物を)ぶつけたり、無理な力を 加えない。(ランプが破損してけがの原因)
禁止 ランプに塗料などを塗らない。 (ランプが過熱・破損してけがの原因)	注意 器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない。 (過熱して火災の原因)
禁止 スwitchの引きひもを強く引いたり、はじいたり、斜 めに引かない。また、ランプにからませない。 (破損して落下の原因)	厳守 明るく安全にご使用いただくために半年に1回の保守・ 点検を行う。

点検

- 6ヶ月に1回外観及び機能(非常点灯持続時間と切替動作)の点検を行う。【消防庁告示第3号と第14号】
- 24時間以上充電後、非常点灯持続時間が20分以下となったら蓄電池を交換する。

■消防法では点検結果を所轄の消防署に報告することが義務づけられています。【消防法施行規則第31条】

ランプ交換・器具の清掃

⚠ 警告 電源スイッチを切ってから行う。(感電の原因)

ランプ交換

- (1) 取付ねじをゆるめて、カバー枠を取りはずす。
- (2) ランプを90度回転させ、ソケットからはずす。
- (3) ランプピンをソケットに差し込み、90度回転させ、ランプを確実に装着する。
- (4) カバー枠を取付ねじで取付ける。

適合ランプ FL10
適合グロースター FG-7E

注意

- 点灯中及び消灯直後のランプや器具には触らない。(高温のためやけどの原因)
- ランプはソケットに確実に取付ける。
(取付けが不完全な場合落下の原因)
- 使用済みのランプは不用意に割らない。
(ガラスが飛散してけがの原因)

警告

器具・ランプを水洗いしない。
(火災・感電の原因)

清掃

- ランプ・プラスチックや金属部分の汚れは、柔らかい布にぬるま湯または水をつけてよく絞ってふきとってください。
- カバーなどプラスチック部分には次のものを使用しないでください。
 - ・みがき粉やたわし
 - ・殺虫剤
 - ・シンナーなど揮発性のもの
 - ・熱湯

蓄電池の交換

⚠ 警告 電源スイッチを切ってから行う。(感電の原因)

適合蓄電池 2N20DA

○蓄電池の交換は必ず当社指定の純正部品を使用してください。



Ni-Cd

この製品には、ニカド電池を使用しております。ニカド電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ニカド電池の交換及びご使用済み製品の廃棄に際しては、ニカド電池を取り出し、回収拠点へお持ち込みください。詳細は弊社カタログをご覧ください。

警告

蓄電池はショート・分解・加熱・変形させない。
また、火中に入れない。(やけどや衣類損傷の原因)

異常時の処置

⚠ 警告 煙が出たり、変な臭いがあったり、破損したなど異常を感じた場合は、すぐに電源スイッチを切る。(火災・感電の原因)
煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。



連絡先

三菱電機株式会社

三菱電機照明株式会社

〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船2-14-40

TEL (0467) 41-2728 (施設照明営業課)

TEL (0467) 41-2773 (品質保証部サービス課)

MITSUBISHI

E765Z945H51

三菱中形廊下通路誘導灯(蓄電池内蔵形)

形名 **KSH1041A** (直付形)
KYH1041A (埋込形)

このたびは三菱照明器具をお買い上げいただき
ありがとうございました。

保管用

取扱説明書

器具の電源周波数は50Hz、60Hzをご確認ください。

施工者さまへ

- 施工の前に、この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
- 取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、
△警告 △注意の表示で区分して説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

禁止 絶対に行わない ください	厳守 必ず指示に従い 行ってください
-------------------------------	----------------------------------

⚠ 警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに 結びつく可能性があるもの	
禁止 引火する危険のある雰囲気を使わない。(ガソリン・ 可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じん のある所で使わない。)(火災の原因)	禁止 器具取付けの際は電線を挟まない。 (絶縁不良により感電・火災の原因)
禁止 電源線は器具の外郭に直接触れない。 (過熱して火災の原因)	厳守 施工は電気設備の技術基準・内線規程に従い行う。

⚠ 注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・ 家財などの損害に結びつくもの	
禁止 さびの出やすい場所、腐食性ガスが出る場所で使わ ない。(劣化による落下の原因)	禁止 器具のノックアウトを外す場合はドライバー等により 電線を傷つけない。 (絶縁不良により感電・火災の原因)
禁止 風呂場など水や湿気の多い場所で使わない。 (火災・感電の原因)	禁止 蓄電池を充電せずに電池コネクタを接続したままで 放置しない。 (蓄電池の寿命低下、漏液の原因)
禁止 雨水のかかる場所で使わない。 (水気・湿気が入り感電の原因)	禁止 表示された電源電圧以外では使わない。 (火災・感電の原因)
禁止 器具の外郭が天井内の造営材・ダクトに触れない。 (火災・感電の原因)	厳守 使用地域の周波数に合った器具を使う。 (火災の原因)
禁止 高温(35℃以上)、粉じん、油煙の多い場所、強い振 動・衝撃のある場所で使わない。 (落下・感電・火災の原因)	
禁止 器具は乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面には 取付けられない。 (絶縁不良やさびにより感電・落下の原因)	

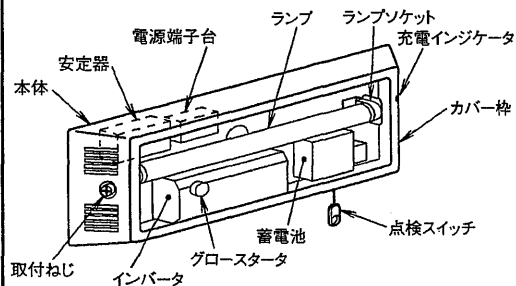
お願い

- 器具は周辺温度が5〜35℃の範囲で使用してください。
- 直射日光や、空調機器等の排気口・温風吹出口付近の
取付けはお避けください。
(蓄電池の寿命が低下することがあります。)

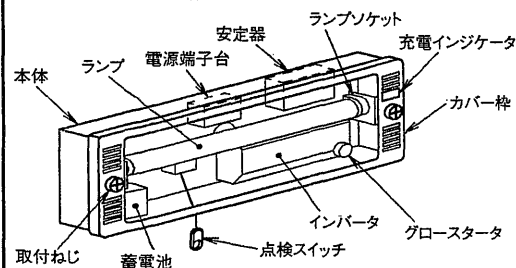
定 格

	常時	非常時
使用ランプ	FL10×1	FL10×1
定 格 電 圧	AC100V	密閉形 Ni-Cd蓄電池 2.4V 2000mAh
入 力 電 流	0.26A	
入 力 電 力	15W	
定格周波数	50/60Hz	
充 電 方 式	トリクル充電	

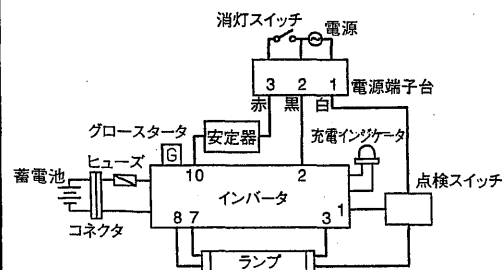
「KSH1041A」



「KYH1041A」



「接続図」



1 取付前の確認

○器具質量に十分耐えるようボルト、ネジ取付部の強度を確保する。

△警告

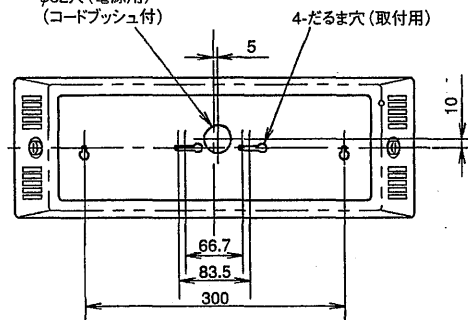
器具の取付けは質量に耐える所に取付ける。
(落下の原因)

2 器具を取付ける

○下図の寸法を参考にして器具を取付けてください。

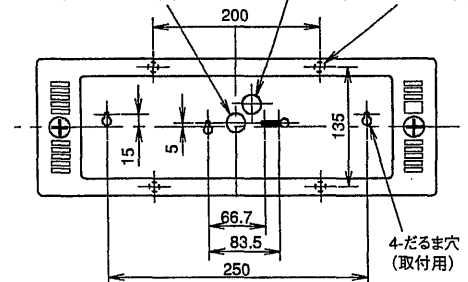
「KSH1041A」

φ32穴(電源用)
(コードプッシュ付)

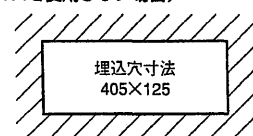


「KYH1041A」

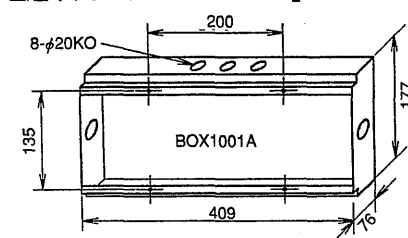
φ20穴(電源用)
(コードプッシュ付) φ20KO(電源用) 4-長穴
(埋込ボックス取付用)



<BOX1001Aを使用しない場合>



「埋込ボックス BOX1001A」



3 電源線を電源端子台に接続する

○電源線を電源端子台の差し込み穴に確実に差し込む。

△警告

接続が不完全な場合は、接続不良による発熱により火災の原因

○電源端子台の送り容量は15Aです。

○適合電線: φ1.6単線 φ2.0単線

△警告

送り配線は照明器具専用とし、負荷容量を確認して接続する。
(負荷容量を超えると電源端子台が過熱・損傷し火災の原因)

△警告

ポリエチレン系絶縁体を使用したEM(エコマテリアル)ケーブルをご使用される場合には、端末部付近の絶縁体露出部を黒テープなどで覆い保護を施してください。
(感電・火災の原因)

備考 EMケーブル(EM-EEF)=600Vポリエチレン絶縁耐熱性ポリエチレンシースケーブル平形

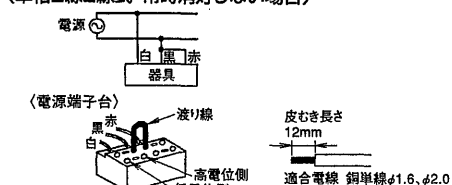
接続状態



△警告

電源の接続は適合太さの電源線を指定長さで被覆をむき、1本ずつ速結端子の奥まで差し込む。
(差し込み不十分は接触不良により火災・感電の原因)

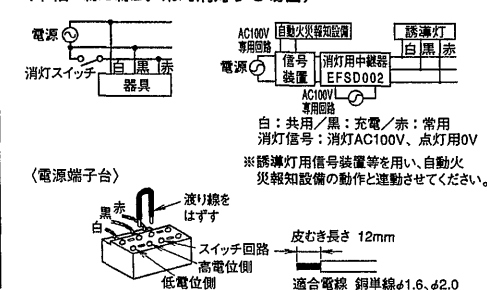
<単相2線2線式・常時消灯しない場合>



△警告

分電盤と電源端子台の間には消灯スイッチを設けない。

<単相2線3線式・常時消灯する場合>



○通電後、蓄電池とインバータのコネクタを接続してください。
通電しないで電池のコネクタを接続したまま放置すると、電池が過放電します。

○使用開始まで時間がある場合は、消灯するまで放電させた後、電池のコネクタを外してください。

○電源線接続の速結端子の電源線を取り外すときは、幅6mmのマイナスドライバーを外し穴にまっすぐに差し込んでください。

■常時消灯する場合は所轄の消防署の了承を得る必要があります。

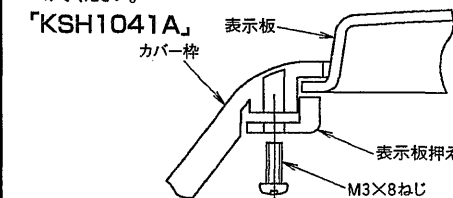
■誘導灯消灯システム使用の場合は信号装置取扱説明書を参照してください。

4 ランプを確実に取付ける

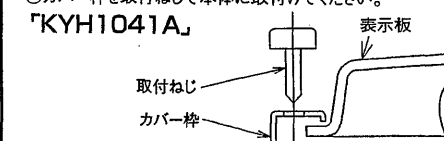
○ランプピンをソケットに差し込み、90度回転させランプを確実に装着する。

5 カバー枠を取付ける

○充電インジケータの向きを確認して、表示板をカバー枠に取付けてください。



○カバー枠を取付ねじで本体に取付けてください。



○表示板をカバー枠で押さえるようにして取付ねじで本体に取付けてください。

△注意

取付けが不完全な場合落下の原因

6 点灯検査

次の点灯状態を確認して万一点灯しない場合、下記項目をチェックしてください。

○通常点灯しない場合

- ◆ランプやグロースタータは各ソケットに固定されていますか。
- ◆誤配線をしていませんか。
- ◆電源電圧は定格どおりですか。

○非常点灯しない場合

- ◆蓄電池とインバータのコネクタは、はずれていませんか。
- ◆蓄電池のヒューズは溶断していませんか。
- ◆蓄電池は24時間以上充電してありますか。

○充電インジケータ(緑色の表示ランプ)が点灯しない場合

- ◆電源は通電されていますか。
- ◆蓄電池とインバータのコネクタは、はずれていませんか。
- ◆蓄電池のヒューズは溶断していませんか。